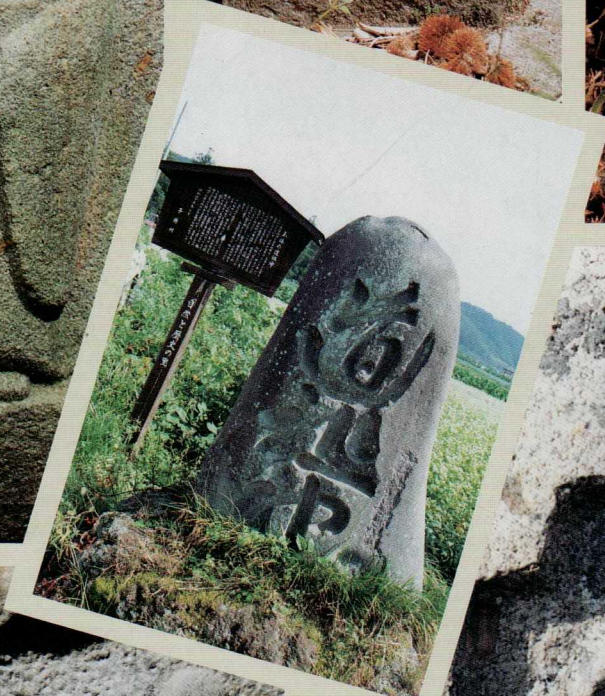


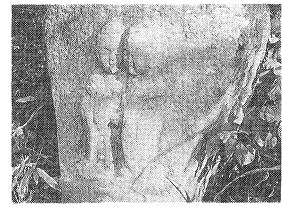
こしよ

自動車技術会関東支部報
〈高翔〉

No. 17 1992
APRIL

- 21世紀の工学教育について
- あけぼの期の自動車部品工業
- マツダ・ルマン—創造と挑戦の道のり
- しんかい16500システムと今後の期待
- 車で道祖神めぐり





21世紀の工学教育について ●佐藤 豪 …………… 3

あけぼの期の自動車部品工業への回想 ●鈴木作良 …………… 7

マツダ・ルマン——創造と挑戦の道のり ●井上 寛 …………… 11

車体システムへのLSIカードの登場 ●大木信二 …………… 16

「しんかい6500」システムと今後の期待 ●副島忠昭 …………… 19

地下の開発利用がインフラを変える ●宮川彰彦 …………… 25

これからの欧州自動車情勢と日本 ●山崎昌男 …………… 29

車で道祖神めぐり ●玉井幸一郎 …………… 32

自動車の歴史——第二号車について考える ●樋口健治 …………… 36

支部通信 …………… 40

あとがき …………… 42

〈表紙〉

村境や道路の分岐点に立てられ、村民・旅人の安全を守るという民間信仰の石像、道祖神。さえのかみ、たむけのかみとも呼ばれる、これらの像を見ていると、何か人々のやさしい心が伝わって来るような気がします。本文32頁をどうぞ。(写真提供、三菱自動車工業 玉井幸一郎氏)